



鳴門市第一中学校
学校だより「一～はじめ～」3月号

2021 3.1 発行

はじめくん（鳴門市第一中学校公認キャラクター）

3月、本格的な春の到来がすぐ近くまで来ています。3月9日（火）・10日（水）は公立高校一般選抜です。3年生の多くの子どもたちが、15の春の試練に立ち向かいます。これまで保護者の皆さまのご協力のもと、教職員とともにその試練を乗り越える準備をしっかりとしてきた子どもたち、その準備が花を咲かせることを心から願っています。

学校だより「一～はじめ～」は、この3月号で今年度最終号となります。保護者の皆さま、1年間本校教育にご理解・ご協力を賜り、本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

輝けよ一中生 輝けよ鳴門一中

校長 三浦 克彦

令和2年度の学校だよりも最終号となりました。昨年度の3月号は、突然の臨時休校の中、卒業式の日程変更を告げる内容でした。あれから1年。今年度最終号の題は、「輝けよ一中生 輝けよ鳴門一中」としました。「輝けよ鳴門一中」という言葉は、校歌の最後に出てきます。校歌は、現在のコロナ禍により歌う機会は減っていますが、本来子どもたちにとって馴染みのあるものです。私も小学校や中学校の校歌を今も歌うことができます。

本校の校歌は3番まであります。次のような歌詞です。

- 1 鳴門市の中央にして 築きなす誇りの校舎
眉あげて仰ぐわれらに いそしみの心わきたつ
- 2 もろともに誠を愛し みがこうよ心の鏡
若き日のからだ鍛えて 伸びゆこう強く正しく
- 3 渦潮のしるしをかかげ たぎりたつ力に燃えて
くまもなく町の光と 輝けよ鳴門一中

くまもなくとはかげりがないという意味なので、「かげやくもりもなく町の光と輝けよ鳴門一中」という意味となります。公立学校は、地域の子どもたちが通い、昔から地域とともにある存在であり、本校が町の光と輝くのは、何よりも本校に通う一中生が輝いていればこそです。

子どもたちは、未来の鳴門の担い手であり地域の宝です。本県教育の方針である「徳島教育大綱」は、「人材」という言葉ではなく、そうした意味を込めて「人財」という言葉を用い、基本方針を「未知の世界に果敢に挑戦する、夢と志あふれる『人財』の育成」としています。

教育は人づくりです。地域の宝である子どもたちの人づくりに教職員は全力で取り組み、かけがえのない一人一人の子どもたちは、本校での3年間、学習や生活、部活動にひたすら熱中して、輝きを放ちながら自分自身を鍛え伸ばしていく。子どもも教師も育つ学校、そんな力のある町の光と輝くことができる学校を鳴門一中は今後もめざしていかなければなりません。輝けよ！一中生 輝けよ！鳴門一中。

= 3月12日（金） 第74回卒業証書授与式を挙ります！ =

今年度の卒業式は、式場（体育館）においては昨年度と同様に、卒業生と保護者、来賓は市・市教育委員会の代表者とPTA会長のみで行います。臨時休校下で行われた昨年度と異なるのは、在校生は式典には参加できないものの、厳粛な卒業式の様子をライブ配信により各学級で視聴することです。その後、在校生は卒業生が式場から各教室へ向かうまでの道中に花道をつくり、祝意と感謝をもって卒業生を見送る予定です。

心のこもった思い出に残る卒業式にしたいと思っております。